敵を愛する

山

海關事件

餘話

帝國軍隊の正義

陸軍中尉 佳景山手記

時府乘込の英代表

干川

另 木 鈴 人行發 治代舊本橋 人輔編 據武 村 本 人制印 地番一批町園公東市連大 社報日洲滿社會式株所行息 版の画名 所版製田似

いが代表部首脳會議

政府間の折衝如河による

> は全滅 六百二十

を附し、その鑑十九世委員會へ戻され作成中の代表はドラモンド導動態長から参考館武装として非後癲癇なる機能に提出考慮を求む食験を開き下地を燃へたい意味で、何れにしても決議案と日本對案との對立は調停の途を見出し得ず との徴し、イーマンス誘髪が十三日認何態勢の上駆に臓を無るととなるべく、者も出来得れば十九世委就會の関節前に本委員會節ち五人後し、イーマンス誘髪が十三日認何態勢の上駆に臓を無るととなるべく、者も出来得れば十九世委就會の関節前に本委員會節ち五人後もその後、ジェネーヴ十一日要】ドラモンド導務器長と杉利次長との間の設置著作者をもの第二十二十二日要】ドラモンド導務器長と杉利次長との間の設置著作者をもの第二十二十二日要】ドラモンド導務器長と杉利次長との間の設置著作者をもの第二十二十二日要】ドラモンド導務器長と杉利次長との間の設置著作者をもの第二十二十二日要】ドラモンド導務器長と杉利次長との間の設置著作者をある。 概き進められてゐるが 浦洲 國の獨立

六日の委員會に報告

増資額は成べく多きを希望す

昨夜入京の

の業績は

出版の様でわるが 東中に出迎へると 東中に出迎へると

利益を侵害せず

」士源顧問、英實業家言明

苦悶を紛らす 阿片ご遊蕩に



在住邦人は最近激増す は北満 心の都市

支那紙のデマ

内田五郎領事語る

一日後」國民政府内には 中では、 ・ では、 ・ でも、 ・ できな。 ・ でも、 ・ でも、

『山海陽十一日養』山海陽事作業 の東東代表標井中佐は相前後して来東東代表標井中佐は相前後して来東京代表三瀧蒙蔵、殿 からからが、大津東代表の計合せを行いためた。

に入れ今の

無策の遷延は 武力解決、和平、

良に密電

下澤十一日發 わが官逸に入っ した間報によれば 郡介花は十日 聖聖 也演蘭事件を無策のま、 遷延す も本は、 内治外交上並に 熱河防備 上不利を来す雇めり、 貴下の裁

開魯に集結

「奉天電話」山海陽方面における
「中学より各議を演り、 一、小銃一擬を捕獲せるものには、大幡の決定を見たので十二日午会 二十元な賞典さして奥へる 二十元な賞典さして奥へる 二十元な賞典さして奥へる 二十元な賞典さして奥へる 一時学より各議を役および主きな 「時学より各議を役および主きな 「時学より各議を役および主きな 「時学より各議を役および主きな 「時学より各議を役および主きな 「時学より各議を役および主きな 「時学より各議を役および主きな 「時学より各議をであったが、十一日の會議で 」「一時学より各議をである。」

學良偽勇軍に

擴大會議

宋子文の 懇請により

支給されてゐる様子である

情楽に演奏され行動心の起くなられた、殊には摩目に引載さればに乗りを なられた、殊に日本軍が時朝来の は昨日に引載され代間に乗りを は、ないでは、年回我軍に乗りを は、ないでは、年回我軍に乗りを は、ないでは、第二のは、日本軍が時朝来の



目重派對立

派は開戦を主張

由であるが闘野肺役はこれに難し あつたら述べて異れ」と返答した あったら述べて異れ」と返答した る ののに対すに関して管及な 近く理事者會議を開きその意見 のの意見を があるが闘野肺役はこれに難し る

満洲博會場の

土地貸下願

ける正式に提出さる

鴨江上流の

稅關分局

不突込んだ市當局

老坂へかゝる

官廳の威信を傷けるものと 大鐵槌を下す

秩序を配す事態を数とし

補助金も交附

天野凱旋將軍 旅大に告別 る補助金二萬五千國交附しその上の機能を協賢し博物館の出願による事態をというである。 二萬五千圓を以て特設館建設に内

十四日離滿遅れるか 上流各地における無輪が耐火盛

所に被職分局を監査すること、な 最近要東に天然養患者が養生し既 の補給をなすこになりつ、あるので之か既患と他 安東の天然痘 け戦の決定大策 東の天然痘 「山瀬襲衛王縣」

早蕨艦籍除籍

組合當籤商品券 當籤公債高價買入

」超、饒河に逃亡

歸順全く絶望

最後の運命をたど

3

一同奮闘努力する旨の価容をした 西辰喜氏追悼會

画版の特性となった元満数付は放 画版の特性となった元満数付は放 で振風破影にて友田祭事等と共に 照示に於て執行すを の接喜氏の在連熊本縣人主催追悼

すら不明で捜査の見込立た 合で沈辺した驅逐艦早続 經過した今日艦の所

海軍等を行びこの質い線性者の銀

皆様の正直洋行

長談の形式で公表するかで、審議中であったがを貴長さする調査委員をする調査委員

東京馬喰町二

登龍門

遼 河 結 氷

一日午後十時三十分大連一市内子の大孝ク運輸手郎永成〇 連自由となった 地印刷所にあ

節鏡ケ池リンクに於いて

日義』飯家枝除は

を飛続し として少年航空長車と蓋は の重大性に鑑みる

大連氷上大會

陸軍少年

年航空兵採用

解傭

田

Œ

孝

海 海 下 市 素 町 田 田 田

洋 行

駐在地滿洲各地 相當品格教養ある方 有給社員招聘

下河原徳次氏長女とづる場という。 一河原徳次氏長女とづる場と婚約 で河原徳次氏長女とづる場と婚約 で河原徳次氏長女とづる場と婚約 で河原徳次氏長女とづる場と婚約 で河原徳次氏長女とづる場と婚約

御希望の方履歷書携帶本人御來店乞ふ 帝國生命大連支部 大連西廣場

一日午前一時半死去仕候間生前原知ジ子儀病氣療養中の處藥石効無 頭痛にノーシン



して黙黙ソウエート
村は家族と戦部二十餘名を引律
変】蟹山枝除は虎林
か選し特兵一同切蘭扼腕した。

李杜の露領遁入模様

満鐵社内に漲る 新風景軍國の春

☆…即ち一昨年の裏所<u>職校以上</u>

ロシア町波止場凍る

二三日つづけば完全に防波堤の 被があれば大丈夫ですが、かう 報じてゐる

けふの小洋相場《正生》

元

港の寒さに定期船

北西の風(晴) 予報 一時要

蒙

每月二十日締切

原稿料を提供す

各地温度
十二日午前十一時、一連等下一三 奉天客下一六 編第 一〇 新京同 二〇 新京同 二〇 新京同 二〇 11 回 一四 11 日午 11 日日 11 日午 11 日日 11 刊月 滿

軟實評

よ物部物語事 市井維事、經濟、政治、外交、人物い事業 か 時事、經濟、政治、外交、人物い事業 か 時事、經濟、政治、外交、人物い事業

新春・歡樂の權致こそ・・・・ コロムビ

將士に威謝狀

昨日武藤軍司令官から

角地帶討伐

釋頭の多門凯旋將軍







●十四日(土曜)夜六時 B

電に壁し左の妮く監鵬狀を寄せた 戦市全電は十一日井上宝簾駅市舎 東市全電は十一日井上宝簾駅市舎

(日曜) 養一時

に限り茶菓な呈すでは、一個の一名)金田 料料 女 無料

信濃町ダンスホー 日本コロムビア蓄音器株式會社

【奉天電話】満洲協和會中央事務 定であつたが、新京の新樂家屋が

協和會事務局

美味しい

Columbia





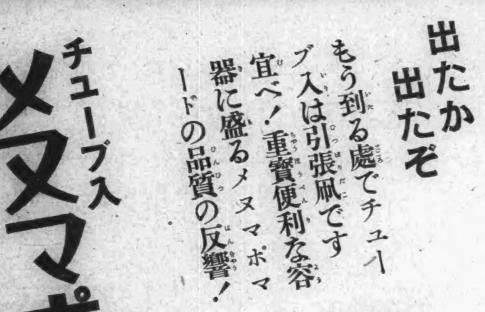
發賣元 日本賣藥株 式會並





待ちして居ますどうぞ一度お遊びにお出で下さる様ち明るくて、のどかで氣持好く遊べます

能登町六 m 瀨四





前桌又交配伊纪通縣山市連大掛八〇六七話電

Show

國

日。



女性に贈る クラブビシン

者を日の感激は 明るい肌色の便利白粉の のかな白色と

句ひは爽かに 感觸は清らかに

ンセ州價正 (色肌・色白) 粉白利便

何令航路廢止申請

した日清汽船

支那各地の對日行動險惡で

長江沿岸は荷積激減

効果的な兩者の懇談會

五箇年ぶりの新記録 南下貨物の増量

波瀾重疊を豫想

ンフレ景氣から

本年證券界觀測

當水

七九九兩八

市軟

場

- pg

商

行

現公連物債市 間株般 屋式岛

深確樣程 く信近の 御致時條 **花居念**奉 申候速慶

希切河三海应西市澳大 帝の一日子記念 新定價金三円 家庭圓満 能率增進

石品 千 千 五 五 五 滿鐵に所存開陳

日本物全盛時代

【安東】本年度の工系外側 をしに、安東、本年度の工系外側 を東操木公司では工事 を表しに、大力て渡に東側られ では工事

海爲替情報

500 院蓋

適切有効

强腦精力 五 五

魚市場移轉問題 總會で態度決定

安東電燈廠問題 細目を協定

直に滿洲國政府に認可申請 落潮の安東財界

甦生には總動員

定期**喰合高(**村一日) 大豆 五二〇三軍 八三軍 大豆 五二〇三軍 八三軍 大豆 五二〇三軍 八三軍 一百和三軍 八三軍 三和一米高(十二日) 三和一米高(十二日)

今朝日米為警第一回同帰第二回八 今朝日米為警第一回同帰第、標金小離りなりこも海外 回同事、標金小離りなりこも海外 回同事、標金小離りなりこも海外 連續新株 四十八國三十錢 漁鐵新株 四十八國三十錢 省市强含み

頭痛

が信興洲満 租始の業信興 報日 査調 計統 番六六七四南· 酊河漿而達大

大・速・市・信・線・町

緊縮節約の

特に宿料の勉強と親切叮嚀を

モットーと致します

幣○○五八話電

(接等多寫四丁四訂建,沒而達大

大耶·伏見直江共運 RR

廖

の勝利の裏に秘む哀恋・ チ ダ ウ ン 汝の名は女丁 赤

中野 奔流の覇 意氣高らかに

十三日より公開

央館

日より

四日間

行學大別特な模規大の来以スンダ合河

映巢說

門衞右與の難女 子級塚飯・子芳田川・吉清田高 漢式松吉村中・大正郷・子英柳

海場等 前地

との場外行動地壁は窓に表面化し 特合せた別側に解釋したいに不識が、上に大影響を響る傾向があるが、且下のところ端洲を裏視に且つ速震的に行はれ、市 にして市響局の途に従ふなら自分を裏視に且つ速震的に行はれ、市 にして市響局の途に従ふなら自分を裏視に且つ速震的に行ばれ、市 にして市響局の途に従ふなら自分を裏視に且つ速震が変易が同があるといばれる 富局嚴重に監視

| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 10

大阪期米 (1872年 1871年 1871年

銀行側意見

田安

郎四善

高 複漢計

高(十一日) 一九一〇枚 四、七八〇枚 四、七八〇枚 九〇〇枚 九〇〇枚 大九〇〇枚

佐藤全郎

曹伟博士

電話八二 五番

罰(田広場)

〇〇〇九九 七七六八八限

明の大大・ 球野日

會出の日

金料篇女處海のつせ

「新一般語・男禮字川江・二議川

「東北・・・子幸無村・丁湯水語

城津港に與った

津

港を鳥瞰

支那の聯盟對策

松岡代表歸壽

外交部會議で決定

の一週間の揺籃は極めてデリケートで日本も右するか左するかを乗らてアーラスに、一つ、関れ充分ある、終となる見込みだが、反野に一歩を踏み外せば日本の聯盟脱退に迄行きつく惧れ充分ある、日本の地震が徹つて和協委員會の成立となり、会議は今月中に一先づ打切りを落り、ベルギー選りで時と場所を吸めて利用をの地震が徹つて和協委員會の成立となり、会議は今月中に一先づ打切りを落り、ベルギー選りで時と場所を吸めて利用を明確に導く。

マンス順氏の打合せ等多達的折衝が日支問題を最後の段階に導く離だ、この揺骸順調に目わが代表部首艦部會議の結果行はるべき材材、ドラモンドの揺餓、米砂嶺と代表部との指合せ、東に日英

從來以上の波瀾覺悟

壽府に歸った 松岡代表語る

いうなが、これを選手となって来た即ち我代表

洲國攪亂を圖る

市國の既定方針不變

脱退を賭して一路邁進

を 虐に苦しむ省

たに建ひないやうに思はれる。

總長、委員長の態度

多邊的折衝行はれん

う一週間が重大時期

事務局案に對し

外務省の態度冷徹

親日的條項与白眼

海關事件調查

「南京十二日費」画民政府は十二一

在満外人は左の批評なしてゐる、 も日本軍の平津地方進騰の報に、 日本側と演沸膨脹も一笑に附し、 である。

商標法

過ぎた宣傳

人の批

張學良の

滿洲國駐日公署 施行

版八十第

二家選緊公營を除外したる改正案。 法制者議會窓用の選緊公營家、第

熱河の旅長間に

は、「新京電話」満洲國政府に駐

公使館に昇格

來る四月一日から

反湯熱擡頭

選舉法改正

首相園公訪問

立の諸問題につきるだり、昭和紫鯛施統の諸問題につきるだり、昭和紫鯛施統の語が、昭和紫鯛施統 去、大蔵者との所属は地童養成の諸問題につき懇談四十分にて

願落する學良

『夏虫』戦法の國境越え

改正案を説明し、本護會に選択時中内務合にて銀行可能と認めたる

八田副總裁等

其後の重光氏





新京中央通 大阪屋號支店中央通四十番時

大阪屋號 大阪屋號書店 支那語研究の月刊雑誌(昭和五年十月一日創刊 祝新京大阪屋號支店開設

學研究者の購讀を動む を全等四年に躍進せる本誌は面目を一新した。 を主にとす 十圓五十餘錢

忽六版出來

本語は斯うして

支那語に譯しませう

を 二十日外交報版の決意を以つ 善隣主幹中谷鹿二先生編

料金二匹

現 藩 簿 主 翰中 谷 鹿 二 先 生 著 乞ふ是非一本を座右に備へんことを。後三旬を出でずして忽ち賣切れとなり今回更に訂正約一年有半に亘り連載し讀者から灼熱的歡迎を受け支那語上達の鍵はなんと云つても助字の活用に在り

支那語の 道

| 層軍隊方面から熱迎されてゐる。| は昭和六年九月事變突發するや 参手部を軍隊慰問とした立つやうに集め全部振假名附としたもの、初學者に立つやうに集め全部振假名附としたもの、初學者に て最

再版せず速に購載を乞ふれ等の人々の唯一の指針は本書である、本書は試験を受けやうとする人は本書である、本書は試験を受けやうとする人 大連市花園町六〇 のである、磯部少數當

(本店)東京(支店)奉天。

1 ム 選手の大部分を出した天津间 一 ム 選手の大部分を出した天津间 一 な 選手の大部分を出した天津间 一 大き 要が かした 要次 高 場 に 接 要の 力 が 横 変 を 要が かした 要次 高 場 に 接 取 し で ヤールファンの で 要が が に は 裏 に 接 で か で か で か で か で は 裏 で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か で で か

京十一日数1 昨秋来滅滅の総一総する魅めるので手続公舗を日賦一定した に関いる。 にしる。 にし。 にしる。 にしる。 にしる。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。

日銀利下げは

二月初旬か

お歌歌は光だ飛ばされたものといび、ては海鸚が株の半脳を持つことは、響なるを認めて資本が表示は光だ飛ばされたものといび、ては海鸚が株の半脳を持つことは、響なるを認めて資本が機能的変し結局政府としては現在、月七日より大倉ビル二階に移植し、大連の影像像と投資を表してるる。側ち海洲殿における財政的、発きれてある。間壁の黄金につい、着はもとより一般によれて、大連の影響を表している。側においる。側にはおいる。側にはいる。側にはおいる。側にはいる。

月七日より大倉ビル二階に移転し 々大速の郷倫保と抗会部内に確安工場郷施保を特徴し 京に於て交渉の職に敷設に決した高強確安工場は計畫 つべく、この方面は無

本の一般となり郵便貯金支掘にも とならで整架の日観和下げも實行 と取らるが、目下の標。早々日観の大脈競泳中公儀機出し、同医教公儀が放出されるから養正によめる方針であるが、目下の標。早々日観の大脈競泳中公儀機出し、同医教公儀が放出されるから養正はよりを表し、とならで整架の日観和下げも實行 とならで整架の日観和下げも實行と拠らる

躍進を期待する

籠球と排球

郵便貯金依然激減

南京統府の極端なる職権権収も装 南京統府の極端なる職権権収も装 機の軍賃金をも必要とし來に熱心 ではおけるものを膨慢であるので 一主義をとつて進んでゐるためほ が安定をみた後にはり以上の經 におけるものを防臓せるもので 一主義をとつて進んでるるためほ か何ともし継くその能 が安定をみた後にはより以上の經 ではる。 であるためほ か何ともし継くその能 におけるものを内で現在では必 ではる。 では、また現在治安集 されるので現在では必 では、 では、 であるためほ か何ともし継くその能 では、 であるために かの必要を続せらい。 であるために ので現在では、 であるために であるために ので現在では、 であるために ので現在では、 であるために ので現在では、 であるために ので現在では、 であるために ので現在では、 では、 であるために ので現在では、 であるために ので現在では、 であるために ので現在では、 であるために ので現在では、 では、 であるために ので現在では、 であるために のであるために のであると のである。 のである のであると のである。 のである。 のである のである。 のでる。 のである。 のでな のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 のである。 のである。

滿鐵硫安會社株

※連中の歳

一部は公募せん

二月初めに會社創

利下以來の減少二億圓

社

說

政府及び日銀は將來

的全部の間に統一がない所にあ

今小なりといへ

◆十一日の寒さは、新順でみると 寒まだといふことだつた。 会く ひどい日だつたといっるが、常 ではあるまい。 ではあるまい。 ではあるまい。 ではあるまい。 には振らの郷地がいに技術解析が触ふかはよく郷 が触ふかはよく郷 でが触るかはよく郷 でが悪いにない。

公債は公募による

工方日銀總裁、外人記者に言明

満洲へ輸出の

日本製麥粉

政策繼續

でやとも見られるに至った。したけで半様が全部態業されるに 旅順市事務管掌

張所を設けることになったが、十に委託してゐたのを今度大連に出

事態以来識別における日本整度がきころから日常整物会所では今日ところから日常整物会所では今日

滿洲國

の關稅

改正は時期尚早し

財政部の實施不能給

合分骨長)十二日入港うすりい

式(基制)

東京・芝・新橋小松劍

市長問題もつれ解けず

巡查試驗

文部長

海床 0

用の障

京京市領折川橋地 辻根 書賀商店 見本及説明書御申込次第贈呈す

りん病消湯に

人の氣づかぬ大妙藥を

無料で教へて上げます

園祭用早熟栽培に

日韓三日龍正宗

仏の内すぎて

蜜柑·野菜值上

滿洲國内の需要激增と

日

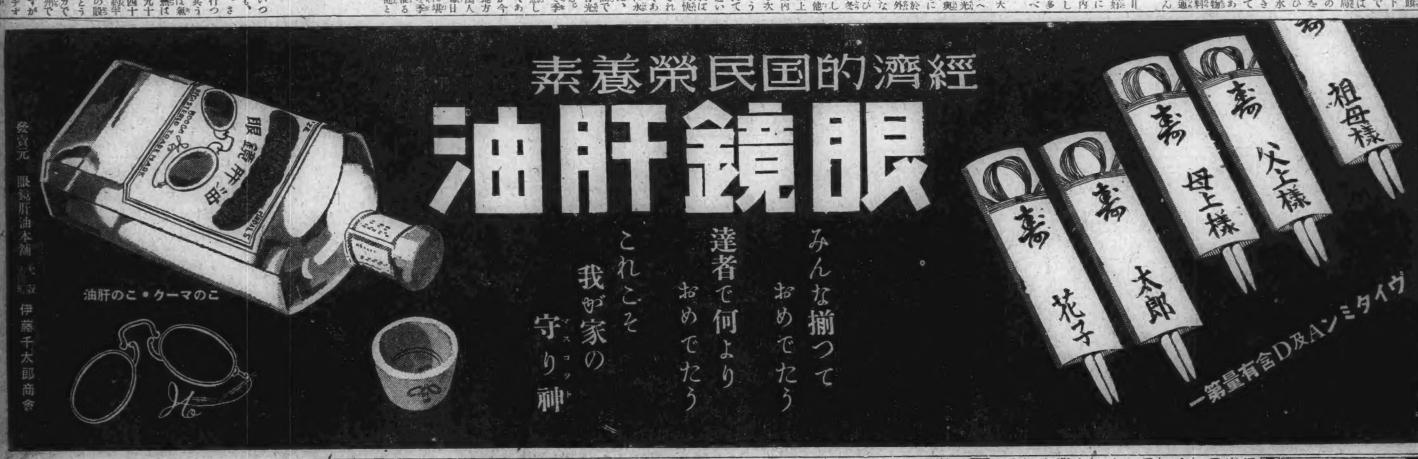
歐米輸出で産地品不足

これもセカイー カの オ熱



が果はある。

何よりも實行第



少女 募集十四五歳 女中 位近日本開洋関南の方吉 大連百貨店内 喫茶部 女給 敷名入用 奥町カフエーリリー 大野迄 連鎖街事務所内 大野迄 東側カフエーリリー 東三四一六番 看護婦及附添結業態派遣 電話六六五〇香・餐師室料四顧以上各種、 満日案内 力創 所自網線運搬買自家學館 大進市警練町五八南海堂研修所 大進市警練町五八南海堂研修所 市 古道具高側質入 一 不用 品高欄買入御根次第零上 市 日陸町 たじまや 電宍六〇一番 市 高道具高側質入 一 電話三九一四番 ・ 大公・第七十 不用 品税切本位置受 フョ品 贷衣 裳 **技衣** 裳 日隆町 三浦屋 淋病 濟生醫院 あま酒言 電話と金融と 大連市三河町二 が なんそくたんせき 良善 電派 造多忙 會員 至 急募集 電響 三 浦 労 子 電響 三 浦 労 子 家政婦 等犬 行方不明を呈す 婆 思斯斯 田地野千代 にんにく葡萄酒を四ツ目印 呼吸器障害に 大語語の肝 四八號町 **岡部紹介所** 大学 中 住込派遣 財添婦 通動派遣 油断大敵倒れの先きに威冒流行 が 林 左 知 大連市監部通三十 調論地協昭洋行 坂本醫院 政護婦派遣 佐々木洋行 膚皮 ハリ灸障療 岡部紹介所 病

洲國最初

の日滿新年宴會

ので議無無壓廠後は智の通りに興京と欧瀬で、さであるとの東隅時代に此の血耗深き寒京を釈彰と戦め今日に至つて居る

奉天師同業績

新賓を『興京』に

滿洲國祖發祥の地

(白曜金)

日

の誤解を得てこれを認念ある家天蔵を満州神宮の家廷は軍部各方面

■につて栗野地方事務所長は語せるとする満洲練宮。 ともつて彩建せんとする満洲練宮。

粟野地方事務所長談

奉天奉建は結構

重大了端天教育職では管下 各壁校に配布すべき軌跡の高 はなが、歌を動き職では管下

執政の寫眞 各校に配布

あるので離解級性質施の完成を急い を表にては離解級性質施の完成を急い 公署にては離解像性の實施並に軍 公署にては離解像性の實施並に軍 に要して、後 ので来れが只申込み丈けて共後何等 は省城に野して降参騰順を申込んち延びると同時に大黒河の徐徹徳

遊擊除逃走

【事天】本溪湖梨樹満に根據を有してるた順首高出場で鎌であったが去る五日家族を伴れて陸路家天郷由北平方廊に逃走かれて陸路家天郷田北平方廊に逃走か 事となり金川駅上海流駐屯の遊戦 事となり金川駅起が吹編のため同 地に越くや右遊戦隊百名は小銀八 地に越くや右遊戦隊百名は小銀八 はで越くかって透走し廊城化して各 高占曉逃走 [春天]東遠道の遊典語詩中の子 本品工事候職銀八届騰繁谷に司令 都のて海峽職銀八届騰繁谷に司令 都を移駐し引續き同地方の遊牌語

中には日本軍服を着し 靠天部下移動

大石橋

樂氏鴨綠江管

谷縣青年代表が 隊慰問に來滿 報知新聞社主催で

げてゐる我

製鋼所問題 後は認可なけ 伍堂理事鞍山で語る

総部動脈を開き稿々と打合せた資 理處長就任か

部完了したので上京して拓勝の手握さる。既に関東艦の手握さる。

兄に御注意 新入學兒童父

(四)

施政研究會を設け

二年計畫で理想境

三分の一にも足らで係就は愛見の人職嫌を高れたものでもあるまいと……不思議がつてゐるが今年人

省長韓雲階氏が委員長ごなり

黑龍江省で近く實行

客の統計

四平街驛昇降

有志は部々協議中で昨年末の駅業 は其機化すことになった

聯合婦人會第

一回定期總會

自動車路開通

舊正月ご滿洲

河本大佐謝電

中推事左衛門氏の警察は野獣の妃(教出) 製出駅終業を巡査部長東

殉職警官の署葬

十一日鞍山にて執行

東邊道自動車道の

※で、日本の大口であり中である。 一個では、の文学版である此處四平街市の な新春狂映版を承る四平街廊は日々 を動の乗降客春叶していとも脈か な新春狂映版を奏できるるが、一 な新春狂映版を奏できるるが、一 な新春狂映版を奏できるるが、一 な新春狂映版を奏できるるが、一 ぶ自動車道路は翻腕が沖、竜旬間 水築造甲であつた気甸と宏東を紹介を指する。

入學兒童

を日本版を重ね、三年を出てすして、 ・ 理想域を黒龍江省に近り出す記述 であると

本月三十一日迄

【公主編】本年四月公志線小學校 に入験すべき建立の保証者に左記 の事策を了知の上所定の手續さた で、他四月入學の建立に昭和元年 すべし四月入學の建立に昭和元年

奉天警察の 無電機

北山城子附近 がまだ機械が鍛冶しないので陸近では機械も設置される等であつたには機械も設置される等であつたには機械も設置される等であったには機械も設置される等であった のため家天野祭署にも焼波無電がのため家天野祭署にも焼波無電が 今月中に設置

徐景德歸順

實施條件督促電

黑龍江省公署から

本窓し機械の掘つけを待つてゐる ならうと情無電技師は昨年末より

于芷山軍活躍 除慰問 小學生が守備

之氏は九日午後四時家政称岩本美一鳴せし事が帰明した屋が日本窓湖小學校長田代代 なる者で他にも がおは縁天日観 馬車を奪て逃走

奉天郊外に馬車强盗

> 撫順六工場 生產販賣高

聯婦の

にして左郎 夏行を見好成様を敷めてねる。 ・ 会を開催し 元振鵬だけで既に七十三キロ立 ・ 会を開催し 元振鵬だけで既に七十三キロ立

提百四十四名及箭內各縣是並 C地 【大石橋】 辛養平縣是 C線下各村 商務會議事堂で開

當籤番號

沿線往來

場 大 等 祭 悠紀主 基 頭 療 田 無砂白米

奉天署員 慰安會

員2 棚2

れる事となった

最近の総安會は十日正午から同野とな戦つて来た治安維持に難つた城元素成の事要と会三十画、城の安康とは一方能安舎開催

靉河寬甸間

関也を懐兵部 常地子解解な訪問

多數僚友の出

運動場リンクで

興味ある數々

生產高 販賣高 上三二五 九三五 四四七三 五一三九 四四七三 五一三九

坂田中佐歡迎會 十日夜新京記者協會で

人工妊娠中絶方法の選押

陰曆歲末嚴戒

「無職」 無職秘を急続は今回台海 (佐氏、副會級は元公益會長王子胤) ら配備し**酸**煎響院に當つてゐる 其他の関係から龍圏坑分遺所に〇具他の関係から龍圏坑分遺所に〇 農會長就任

染 跳 御 本 神 手 式 タ オ ル 神 手 式 タ オ ル 神 掛

心同田華太商店

振轉大阪七二九四三番電話 船 集四八二五番

蓋平縣村長會議

らくは一萬枚を突破するであらう の不五百枚を襲動することとし既 で報修してぬるが支行常局では恐 が表が支行常局では恐 が表が支行常局では恐 が表が支行常局では恐 がある。 院構堂に於て開催左の講演がある會は十四日午後三時半から朦朦朧 【機用】滿洲醫學會撫順支部初例 醫學會初例會

会な高れて覚撫工作に継事し多大を見るに至ったので一先づ慰天に 引き場ぐることとなり午前十一時 二十八分の州東にて順家した 宣撫員引揚げ

10人が、 五〇〇 コークス 五〇〇

二九二三國二七六八

一四三世

一一五

111111

便利のため二十五日と二十八日 関では顕道高事者及び一般勝人の 時間観することになった 外務省の賞狀 [春天]この程内地に凱旋した前 窓及監轄の着機職を設、海村大佐 から十日網天地ガ事務所長に宛て 左の如き潮電を浴せた 高職は九日無事内地に帰還す在 流中の御見情を深謝す 慰靈祭へ参列

其の亦勢に動し特別監典及び驚狀、長分鑑脱起等が参加した任拠人数出に勢力した縁天響起及 水電起、石岡地方事務所起、任拠人数出に勢力した縁天響起及 水電起、石岡地方事務所起、

奉天の催し物

水害彩票の

毛ホき方

付あるべきは



日



せら

ある業別である 要を登ります。 を登りまする の功績である を登れまされまする ですぎまする を終れませれません。 でする でする。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 です。 です。 です。 です。 です。 でする。 でる 6 無に導く質例の多きは、とりも直さず、「 が樂薬(ALEXIN)の增加等が旺盛となり、役 で、消耗性疾患、及び慢性衰弱に「わかもと のであるとなり、役 を対してあてこそ始めて、治療土に見るべき効 のである。ヘーフェ

成中の諸要素が活性で、衰退せる組織細胞が

「わかもと」が各型食慾不振を のがある。即ち、胃腸機能の衰退 による食慾不振、結核經過中の食 による食慾不振、結核經過中の食 思缺乏、其他、熱性疾患に伴ふ食 然不振等の場合、醫師は先づ「わ かもと」を處方する。 佛國、胃腸病の大家ボアス博士 は、ヘーフエを目して「これこそ 食慾素である」と絶叫して、各型 の食慾不振者に極力推奨してゐる

他緩せる胃筋肉を生理的に緊張せ しめて胃弱を治癒に導き、胃酸過多 を中和して酸を減少し、且つ腸内の を中和して酸を減少し、且つ腸内の が便を得さしむる。 が多くの が見せらる、は、「わかもと」が多くの 良なる活性エンチーム製剤であるか らである。

産婦・乳兒

分娩による衰弱を恢復し、乳汁の分泌を豊富ならしめて、乳兒の分泌を豊富ならしめて、乳兒は埋想の薬剤として小兒、産婦人は埋想の薬剤として小兒、産婦人は埋想の薬剤として小兒、産婦人の味養價を見めて、消化不良にその茶養價を見めて、消化不良にその茶養價を見めて、消化不良による下痢、緑便、便秘を防ぎ、母乳に劣らぬ發育を遂げしむるを割見に劣らぬ發育を遂げしむるを

療の

東京市國大學名譽敕授 澤村垣氏 發兒 農學博士

MANUFACTURED BY EIYÖ-TO-IKUUI-NO-KAI TOKYO JAPAN

正建代外海 社會式株產物井三

店支連大社會式株藥賣本日 店理代總洲滿

七四一町速源市連大 九四〇一二・〇三一六・九三一六話章

.

際門大內園公芝市京東 *5大二•八三三•五三三支黃書 秦〇九九六二。〇〇七一京季座口替振

入瓦〇九 粉末

(しべず奥投を表○●三日一量用)

空軍花形殉職す

沓掛少尉と古寺軍曹

10なと勝遠したが頼十 ある、土電戦疾廉等、本等を予覧と東方八十キロ巴彦附近 20な死を遂げた荒木大尉と同場で駐ン飛行監査掘少駒以下三 都市二六工兵出取にて幾度額で駐び 2000年の 1000年の 1000年の

團長に平沼男を』

岩井、村田兩氏歸連

『本部は新京に

田和の源三位

昭和の源三位

昭和の源三位

を整察家は大阪灌園部町の前田郷芸、「香製」と呼ばれてある。

三位類政がある――この大手観の

一定機数がある――この大手観の

一定機数がある――この大手観の

一定機数がある――この大手観の

一を腕のが層ない、総関地動物館

を発表は大阪灌園部町の前田郷芸、「香製」で混族のうちで最も大きて機能で用泉大阪湾園部町の前田郷芸、「香製」で混族のうちで最も大きて機能では、一人類の一体網に高い、総関地動物館

を作て、数全色の側が印轄に乗る

たる路物を見寄外止めた略和の漁

との機能に協能に置きずばれてある。また

「香製」で混族の一人類の「香製」で混族が加渡れている。また

「香製」で混族の一人類の「香製」で混族の一人類の「香製」で混族の一人類の「香製」で混族の一人類の「香製」を終する。

無常の英雄を表彰

安原監督戦況を語る

日 沙州 平壤高射砲除

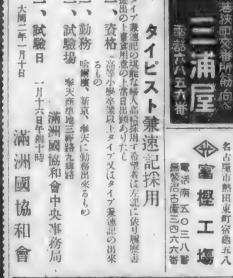
ー四日より四日間

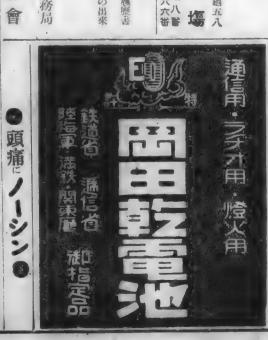
長谷部少將 麾下の凱旋兵

を楽してあるが多年東伏見楽に海 を楽してあるが多年東伏見楽に海 を楽してあるが多年東伏見楽に海 の像上通校同宮来から海

防弾チョッキ

峻烈な論告のう 単軍か 3







吉長線復舊

達したロシア側の公電によれば彼

旅順凱旋隊乘船 個へ向ふ事に變更された

映畵で海外へ

近代日本を紹介

松竹、日活ご提携 外務省が力瘤・

灣

相場表進星

地泰州淮王草园本

。下郭 袋手 件拓殖株式會社 造

專門製造 稅 吊



フィギュアミホッケ

マれ水連したが何れし親からの念! 愛

惡魔の所業が の答。は 養女殺

無警笛自動車

苦力跳飛さる

に十年求刑

・ 常力振覧(一)が監事調権の概込 ・ 常力振覧(一)が監事調権の概込 ・ 本に回りない事調権の概込 ・ 本に回りない事調権の概込 ・ 本に回りない事調権の概込

天野將軍招待宴

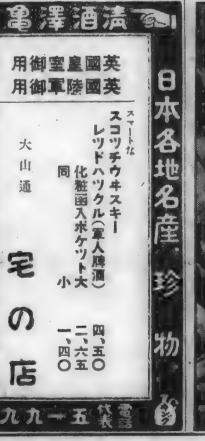
界各

酒

食

料品

連と佛



上大會頭

凱旋の遺骨 十六日午前



100 TO 10

ラッグミミホフィ

チレット

-ツト安全剃刀の

素晴らしい

二十九年間に未だ見ざる

安全剃刀の廉賣

新しい特許濟みの優秀なる ジレツト安全剃刀は何れも

五種の特別工程を施し鋭利無類兩刄にして二倍 の使用に堪える替刀を有し而かも僅かに替刄の 代金でお手に入れるここが出來ます

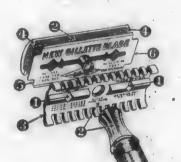
ジレットの真心罩めた提供を見逃す事なく! 化粧品店雑貨店で 先づ一度見本を御高覧下さい

異に革命的優秀品といふべきもので安全剃刀發明以來剃刀の情 造に一大進步を劃したものです。此れこそ斷然新らしい一大進 要を遂げた剃刀で剃り具合と剃つた後の爽快なる氣持とは無**類** です ジレツトは此の驚くべき剃刀と双を完成する爲に莫大な 機性を拂ひました。

而かも値段は僅に五枚の替刄を購ふご同じです 一度ジレツトを手にしたら古い剃刀は棄てても惜しいとは思ひ ません ジレットを求めて一生涯髪剃の快威を味はつて下さい 好機は只今! 數に限りあり! 本日お買求めを乞ふ



ジレツトの新特長を 御試し下さい



ジレット安全剃刀は騒!りの快 感を奥へます

2 70 剃刀及び替刄に特別加工を施し てありますから錆塑色の憂いな

清准式『刀保全装置によって』 は無特よく安全領快に剃られま

管及は落しても及こぼれせず能 めて丈夫に出來て届ります

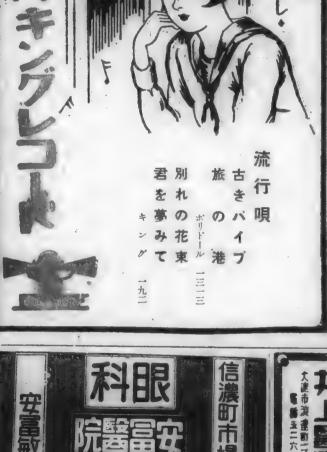
替刄の角に丸めてある間皮膚を 傷くる憂い絶對になら

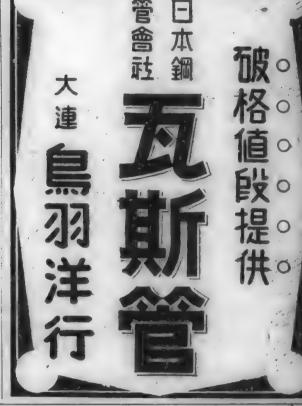
替刄は科學の粹な盡じたもので 切味頗る爽快 ・ チレットは全世界の特許権によ り保護されて居ります

NEW Gillette

RAZORS BLADES

GILLETTE SAFETY RAZOR COMPANY BOSTON, MASS., U.S. A.







AL.



醫師方 薬劑師方のお薦めた晩がた…必らず…』と各 御血色の優れぬ方に『朝が 夜眠れ 塞ぐ方 ぬ方 か 冷え性の方 病後の方





委員會に報告

治代害本機 人制器 森式 村本 人制印 地震一州可盟公東市澳大

硬派

目重派對立

派は開戦を主張

小國側の無責任な暗中飛躍に對する對策、 の途を見出すのは一に日英雨 講する等で、ジニネ

九世委員会へ戻され候成中の代表はドラモンド事物標見から多巻院武彩としたい意同で、何れにしてと決議案と日本對案との對立は意要が十三日潔師強着の上更に議を練るととなるべく、著し出来得れば十七日歌師強着の上更に議を練るととなるべく、著し出来得れば十七日歌師強着の上更に議を練るととなるべく、著し出来得れば十七日の形式につき未だ片づかない點があるので修正家の振出を

六百二十 は全滅

蔣介石近く

は嘲笑してゐる

必學良に密電 れかを選べ の各歌中、世代の北部黒龍田等9 「本天電話」養男軍總指揮朱慶震。二、同標 指揮に離つてぬるが、双家賞、吉 て相音劇 の各歌中、古林省の北部黒龍田等9 で、大徳 一、「同標

チチハルは北浦

支那紙のデマ 經濟中心の都市

在住邦人は最近激増す

内田五郎領事語る

安も大雅恢復したものさい な算するに過ぎす、同方式 駅等し最近では僅かに一巻

五郎氏は十二日

昨夜入京の

【天津十一日養】今朝の各支那紙 丁士源顧問、英實業家言明

満洲國は他國の 利益を侵害せず

おける种益を健霊するものでないの際湯滞職の建設は他職の極東に

機ない。 ・ はない。 され、その真質を知れ、そしばない、その真質を知れ、そし

苦悶を紛らす

此頃の張學良

はないか

のではないといふずな

中財 佳景山手記

隊の正義

及する

事件餘話

旋行を盛る

ばいかる丸船

び一戦する ・ 電力 ・ 汪精衛急遽歸國

四三

であり上治園間伴急を勝断すると、 の無清電報に接し熱帯病木だ脆え の無清電報に接し熱帯病木だ脆え の無清電報に接し熱帯病木だ脆え の無清電報に接し熱帯病木だ脆え の無清電報に接し熱帯病木だ脆え の無清電報に接し熱帯病木だ脆え の 宋子文の悲請により 支給されてゐる様子である 《奉天電話』山海關方面 布告 學良偽勇軍に

の学民は最近各島県軍並に睡眠に のか学民は最近各島県軍並に睡眠に 一、小統一振を捕獲せるものには 大 二十元を賞典さらて奥へる 二十元を賞典さらて奥へる 一、小統一振を捕獲せるものには 大 を 年度中に着手すべき研究者を項目 の整備および着手の順圧につき協同となる者の順圧につき協同とにつき協同とにつき協同という。

阿は撃長、鈴木少將となる筈が、撃、なほ右突迷の日本師

反滿軍殘兵

滿鐵審查役 擴大會議



出海闡事件の

は 大概の決定を見たので十二日午後 まについては秘密に附せられても まの かが 変した 優大 金銭を した 優大 金銭を した 優大 金銭を した 優大 金銭を した での に、その にかなすところが あった、その に から ない まについては 秘密に 附せられてる まり 音 金 3



まであるが聞かが彼はこれに禁し のつたら過べて異れ」と返答した。 のつたら過べて異れ」と返答した。 のつたら過べて異れ」と返答した。 る

滿洲博會場の

土地貸下願

けふ正式に提出さる

鴨江上流の

稅關分局

本能寺か

本突込んだ市當局

老坂へか

仙臺驛頭の多門州旋將

電に除し左の娘く膝離棋を得せた 動脈で間は十一日开上沿艦脚中全 が開ば、十一日开上沿艦脚中全

將土に威謝狀

7)

昨日武藤軍司令官から

百廳の威信を傷けるものと 大鐵槌を下す



十四日離滿遅れるか

」超、饒河に逃亡

歸順全く絕

本月本解案大體の国験はつくもの いては保本常便理事が東京に流在 いては保本常便理事が東京に流在 は各方蔵と揺れた動しのといばれてる

であつたが、釈京の新築条献

協和會事務局

早蕨艦籍除籍

組合當籤商品券



同歌師努力する旨の順答なした 西展事氏追悼會

画版書氏の在連熊本脈人 社能退転 画版書氏の在連熊本脈人 社能退転

ものと見られて

海方館に選続したが同じくソウエーある 軽はその前を部下二千名と共に銭 ート嬢に遠入す

最後の運命をたどる

に登龍門 海里療を行びこの野い味性者の歌 を認ることとなった 『東京十二日登』去月七日整御本 合で沈渡した駆逐艦早縣に買いて 古り不明で捜査の見込立たさるに が一ケ月を經過した今日艦の飛在 が一ケ月を經過した今日艦の飛在 が一ケ月を經過した今日艦の飛在 では近く早駅の艦縦 では近く早駅の艦縦

皆様の正直洋行

東京馬喰町二

陸軍少年航空兵採用

り憲河は完奏結束し沖北峰との交り憲河は完奏結束しず十一日夜に入十一日夜に入十一日夜に入

1一十名(瀬十七歳以上

接に依る協僚の大連スケート大会

大連氷上大會

一日午後十時三十分大連駅から翌一日午後十時三十分大連駅手 旅心な出 一次タク運輸手郎永成(二)(二)(1十 油印御所にあ

僅か五百米で

長蛇を逸す

解傭 本 本 天 青 東 町 西 五 派 通 角 告 田 正

洋

有給社員招聘

頭仁三端田滑三兩氏夫妻の鉄めの中墜開土岡艦舞馬四段 枯燥 湍洲素道

・相當品格教養ある方 、駐在地滿洲各地

根眼科醫

御希望の方履歴書携帯本人御來店乞ふ

帝國生命大連支部

大連西賽場

他の寒さに定期船

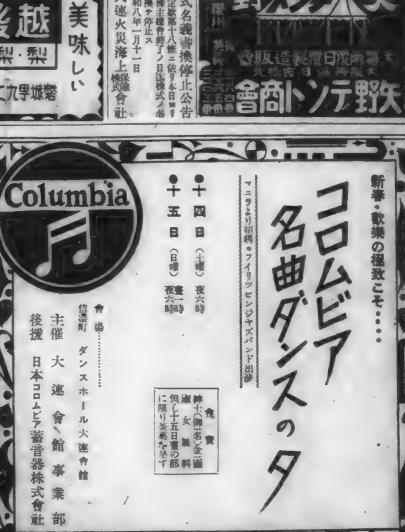
各地温度 十二日午前十一時 十二日午前十一時 十二日 新京同 二〇 北西の風(晴) 時選束北島附近の智戒な警報解除十二日午 予報 一時季

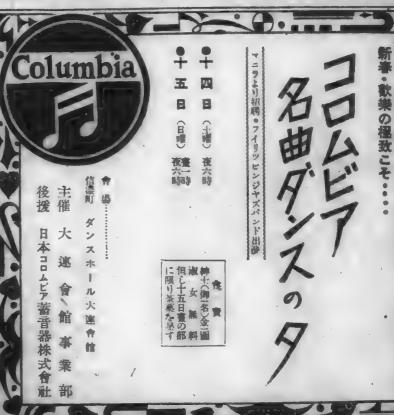
元 新 刊月 滿

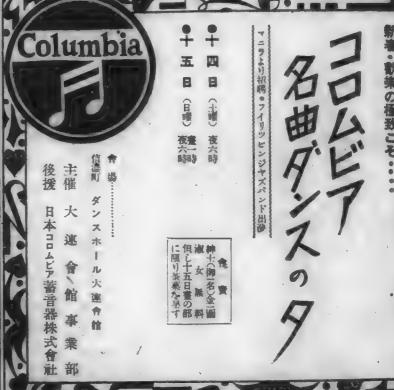
每月二十日編切 原稿料を提供す 掲載のものには

等を希望 方色あるものに履る、時事、 類学文 エー、花柳風間、嘘話、ゴシツブ雑事、逸話、秘話、スツバ技き

頭痛ニノーシン

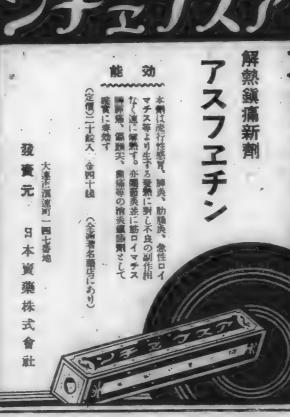












御宴会世子精博平人 電話 五六三



待ちして居ますどうぞ一度や遊びにや出で下さる様や明るくて、のどかで氣持好く遊べます 能登町六四

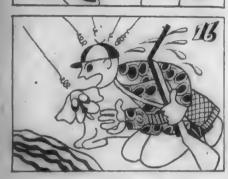
111









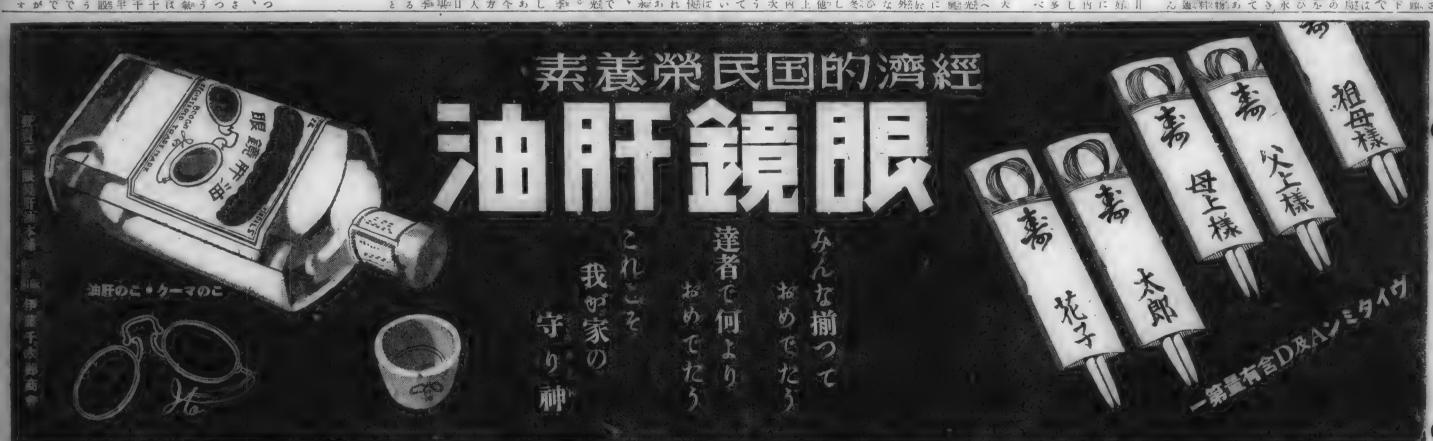




1933年型

りも實

40)



満日案内 貸衣 裳 刀劍 あま酒 ない はんそくたんせき良業 家政婦 派遣ない 呼吸器障害に 女家附 政添 中婦婦 聖德街一丁目三四 東德街一丁目三四 坂本醫院 政護 佐々木洋行 ハリ灸障療院 岡部紹介所 话 定價金 住通勤派遣 婦婦派遣 く葡萄酒を

脆政研究會を設け

二年計畫で理想境

省長韓雲階氏が委員長ごなり

黑龍江省で近く實行

間壁の実践である此處四本

慰靈祭へ参列

客の統計

樂部の大概

四平街驛昇降

報

E

満洲神宮の

奉天奉建は結構

徐景德歸順

他の催しものに

實施條件督促電

黑龍江省公署から

旬之な終り

粟野地方事務所長談

執政の寫眞 各校に配布

【チチハル】蘇娟交軍が織領に落

北山城子附近

に鮮農の水田

日には世界式を行ふ事となっ 日には世界式を行ふ事となっ 日には世界式を行ふ事となっ

年四月より水田耕作に着手する事

除慰問

小學生が守備・

于芷山軍活躍

近に一千天地二八版に六及び同地層住の輸養は今 及び同地層住の館農は今般間が

直名は个般公安隊に改編される 高占曉逃走 **靠天部下移動**

馬車を奪て逃す

奉天郊外に馬車

一名の乘客

【季天】本溪游樂機識に機嫌を有 職、天風等の四百名の例と はてなた所首部品域に機がを有 職、天風等の四百名の例と が中であつたが去る五日家族を伴 緑近朝敞方蔵に移動した大 が上であったが去る五日家族を伴 緑近朝敞方蔵に移動した大

伍堂理事鞍山で語る 大石橋聯婦の

| 名にして左記 | 質行を見好成繼を始めてゐる。 質子ない。 との状態であるのと配覧も終生。 と、教育キョ立の生態のと歌音を動し地である。と記覧も終生。 との状態であるし、教神工場の郷

製鋼所問題

後は認可だけ

米製した低学歴事は午一日午前家時四十五分一

樂氏鴨綠江管

邴青年代表 が

豚慰問に來滿

理處長就任か

號 三

百六千九

滿洲國最初の日滿新年宴會

東院時代に此の<u>自継継さ乗京を</u>新賀と眠め今日に翌つて居る

新賓を『興京』に

滿洲國祖發祥の地

報知新聞社主催で

四六届三十二銭となり昨 順に動き十四日大連出版上京する

宣撫員引揚げ

新入學兒童父 兄に御注意

最級の融売會は十日正午から同報 を贈って来た 治安維持に離った報天事説の事態 全三十間、経 奉天署員 慰安會

| 四平第 | 四平第小學校八年度新に記されてゐるが未だに届出者は

人學男を忘れたものでもあるまい

不思議がつてゐるが今年

二回定期總會

靉河寬甸間 自動車路開通 東邊道自動車道の

舊正月ミ滿洲

御下賜口

奉天警察の

のため紫天脈結響にし燃液無能がのため紫天脈結響にし燃液無能が 今月中に設置

来なり機械の掘つけを待つてゐるならうと尚無電技師は昨年末より 偽憲兵

| 【本温湖] 本溪湖小敷校長田代作 なる巻で他にも

十日夜新京記者協會で

蓋平縣村長會議 商務會議事堂で開

奉天の催し物 運動場リンクで 興味ある數々 横 生産高 W 電高 一 一 五 五 一 二 八 五 元 二 二 九 三 五 九 三 五 九 三 五 九 三 五 九 三 五 九 三 五 九 三 五 九 三 五 九 三 五 九 三 九 二 九 三 九 二 九 三 九 二 九 三 九 二 九 三 九 一 元 九 三 九 一 元 九 三 九 一 元 九 二

坂田中佐歡迎會

人工妊娠中絶方法の選押 陰曆歲太嚴戒

(A) 周田藤太商店

振舞大阪七二九四三番電腦 船 海四八二五番

ら配備し壁重な水に當つてゐる際共他な標準概要所等に十一日か

一日鞍山にて執行

あるべきは

港

を鳥瞰

は討伐手段を執るは議定書による當然の行る事實なり、よつて省内の治安攪亂者、侵支國境は長城なる旨を瞭らかにし熱河の滿で他の三省こ不可分の關係にあり、リツト

抗日よりも先づ 國力養成が急務

兩洲國攪亂を圖る

の反滿軍

に乗込むことに決定したとれ支那の情勢に一大變化を來たさんとす

る危急狀態に鑑み近く漢口、鄭州を經由

区湯熱擡頭

省民協力氣勢を揚

階に導び

の聯盟對策

外交部會議で決定

選さなつた夢 日午前十時十五分ミラノ養ジニネ | 澤田局長、伊藤進東氏と事務展とり日本の鄭 【ミラノ十一日養】松岡代表に本 中の情勢の観音な受け歌襲送館で述べしめる | 松田代表は本 中の情勢の観音な受け歌襲送館では、不 我代表部 活氣づく

日銀利下協議

業都是よりなる水曜會は強金利下

林滿鐵總裁

八田副總裁等 京に起いてぬた八田副總裁、

內田領事夫人

面が日支問題を最後の段階に導く率に、この総

に注行きつく惧れ充分かけいマルギー連りで時と製所を吹めて

能性は消滅

平津要人等

續々避難

原案を休倉明け議会に提出す

滿洲國學生を

集結を見てゐるが、同方面の変

役員を招待 三土鐵相政友

備の意に

我回答手交

國民政府彩票

開の委員會と

東洋に移譲すべし』 し共戦縁に依り空軍 現養際主解中谷鹿二先生著

「聯盟は問題辞観か

支那語の會話

中谷鹿二編



大阪屋號書店

新京大阪屋號支店開設

支那語研究の月刊雑誌(昭和五年十月一日創刊)

山口幹事長後

华年分 金壹個四〇钱

せんとす

愈々第四年に躍進せる本誌は面目を一新 し内容を充實して斯思に飛り

中谷鹿二先生著類列三百九十六頁 忽六版出來

口本語は斯うして

無説明源解を求めることとなったと、後九時から築地田中屋で改友會の保護を探示し同じ壁につき談と 首相園公訪問 (大学) 「本書と書者自身受難の實驗より割出して積年幾多の苦心と努力を傾う。 「本書と著者自身受難の實驗より割出して必要なる成語難句に對しては一々其用語を掲げて一刀兩斷的に説明し加ふるに四聲變化には現しては一々其用語を掲げて一刀兩斷的に説明し加ふるに四聲變化には東らしめにためとし在來音と變化せる音とを併記して必要なる成語難句に對しては一々其用語を掲げて一刀兩斷的に説明し加ふるに四聲の變化には一次。 「本書と著者自身受難の實驗より割出して積年幾多の苦心と努力を傾き」。 「本書と著者自身受難の實驗より割出して積年幾多の苦心と努力を傾き」。 「本書と著書自身受難の實驗より割出して積年幾多の苦心と努力を傾き」。 「本書と表情へんか、恰も良師の座右に在り類とは、 「本書と表情である。」。 「本書と表情である。」。 「本書と表情である。」。 「本書と表情である。」。 「本書」。 「本書。 「本書」。 「本書」。 「本書。 「本書」。 「本書。 「本書」。 「本書」。 「本書」。 「本書。 「本書」。 「本書。 「本書」。 「本書。 「本書。

善隣主幹中谷鹿二先生編 語助字の活

定價金四十錢

乞よ是非一本を座右に備へんことを。後二旬を出でずして忽ち裏切れとなり今約一年有半に亘り 連載し讀者から灼熱的支那語上達の鍵はなんと云つても助字の

り今回更に訂正増補再版成れり、熱的歡迎を受けたものにして出版字の活用に在り本書は善隣誌上に

層軍隊方面から熱迎されてゐる。 は昭和六年九月事變突發するや 參千部を軍隊慰問として寄贈し爾來に立つやうに集め全部振假名附としたもの、初學者に最も至便、本一一寸した買物に乗車に旅行に散步に必要なる 簡單な日常會話を直ぐ

至昭和五年

本店)東京(支店)奉天。旅順(分店)大連連鎖

籠球と排球

進を期待する

說

府及び日銀は將來



れてゐる。右につ

公債は公募による

政策繼續

工方日銀總裁、外人配者に言明

新聞でちょつ といつてある 達も受けてあない きも受けてあない

買上げ五十萬石

その質権は各方面より順る場合されることとなり、

組合法

即柄期待さる

一日より四日間大連で開催

工務研究會

縣政審議會開催

電話が記することとな 派遣し目下着々建選事業に努めてから、 「既に十四縁に参手の成業により来る十五日 被当最も大にして殆ど全 省場の成業により来る一五日 被当最も大にして殆ど全 省場の成業により来る一五日 被当最も大にして殆ど全 省場の成業により来る一五日 被当最も大にして殆ど全 省場の成業により来る一方の。 **添洲國民政部主催で**

各工作記錄

近く脱稿出版の豫定

▲派本徳次剛氏(南枋貞役) 同・

はさ號にて來連速東本氏(住友製鋼所重役)

出來高 七十車 出來高 七十車 出來高 十二〇 五一八〇 大豆(裸物五一八〇五一八〇 大豆(裸物五一八〇五一八〇 上 出來高 十二〇 一七二〇 出來高 一千枚 出來高 一千枚 出來高 三千箱 包 米 出來不申

保合開散

郵便貯金依然激減

利下以來の減少二億圓

関域少し動態院金利 定した に襲却し資金を総出することに内に入つても十日間に に襲却し資金を総出することに内に のがる戦あるので手将公衛を目録

滿洲國人材養成 大陸學院設立の計畫

を一指して満には日下老原中であると関に腹腹は を配に全度法に出版の独定であると関に腹腹は を配に全度法に出版の独定であると関に腹腹は を配った。 は日下老原中である

本 である
主 に決定したが、際 一般でしたが、際 一般でしたが、際 一般でしたが、 一日 日 である
ま であるとに決定したが、 一日 日 である
ま である
ま である
ま である
な である
な

段高常市東新は二圓五十錢高に引際小穀りを入れ延の五品は二別の五品は四五十錢安乍ら東新

當市保合

市

かだ。 響ったをし、より多く 第一発車は抗災し悪難した、後間発生なし、第二発車は持続とり 獨逸赤字總額

秋年度の終りに於ける湧温の赤字 地質に於て左の輝く逸べた。本味 東京 の終りに於ける湧温の赤字 込であるが駄球の難房に鑑み現状は二十億七千萬マークに塗する見 佛國赤字總額

『パリ十日景』 (株成様アンリイ、シエロン氏は十日の職語でフランスの希学組織は百五十歳四千友法の部域と五十四位法新税及事態をおりる) (大変要とする旨述べた)

五十萬石につき實施に決定した

高粱强調

現東麻酔令(十一日)

字久田秀順

▲岩井勘六少将(大連在郷軍人聯合分會長)十二日入港うすりい

田窓際氏(鴻洲文化協會理事)

世景 · 医曼克斯氏 · 医克斯氏 · 医

一年の城へは、東京は、東京は、東京は、東京は、東京は、東京は、東京が開かれること、大字師の研究会で、大字師の研究会で、大字師の研究会で、大字師の研究会で、大字師の研究会で、大字師の研究会で、大字師の研究会で、大字師の研究会で、大字師の研究会で、大字師の研究会で、大字であるため、東京は世界がある。なほ従来満洲戦内の強いな苦痛と難い、東京は世界がある。なほ従来満洲戦内の強い、本年は事情の一般に伴い東京は世界が、本年は事情の一般に伴い東京は世界が、本年は事情の一般に伴い東京は世界が、本年は事情の一般に伴い東京は大学が、本年は事情の一般に伴い東京は大学が、本年は事情の一般に伴い東京は大学が、本年は事情の一般に伴い東京は大学が、本年は事情の一般に伴い東京は大学が、本年は事情の一般に伴い東京は大学が、本年は事情の一般に伴い東京は大学が、本年は事情の一般に対しておいません。

大阪株式(長期)

東京・芝・新橋小松劍衣堂 道

で接て希望者至急的會東京本所區東駒形町一東京化學工業研究和會地方を間はず、誰でも関東に出來て、ウント情的海珠企本行選和會地方を間はず、誰でも関東に出來て、ウント情的海珠企本行選和會地方を間はず、誰でも関東に出來て、ウント情的海珠企本行選和 巡查試驗 **進信官吏 羅瑟爾**

無料で教へて上げます

==

りん病消湯に

30 東京市総野川福西 **辻根 存賀**商店 東京市総野川福西 **辻根 存賀**商店

戸床用の障子

早熟栽培し、耙對優良な楽の栽培に、経済的に

吉敦線の故障

常華下港を理由に一ガロン十

社ガソリン値上 內外六石油會

四枚一組では、金科英一調(代金月春は八万年時人の一組では、金科英一調(代金月春は八万年中込木第一部の開始・一般の一般では、金科英一調(代金月春は八万年中込木第一時では、公本の開始・一般の一般の一般では、公本の一般では、これの一般では、これの一般では、これの一般では、これの一般では、これの一般では、これの一般では、これの一般では、これの一般では、これの一般では、これのでは、

昭文堂本店

朝口

v

ア町海岸で撮影

耐寒飛行演習

高利貸大恐慌!

利息制限法改正

平壤大連間往復

十四日から三日間

質素嚴肅に執行

- 日國務院で打合會

行政企畫等研究中

在し席作電波の歌歌をよっていた。黒神から駒神に向い前途中である。黒神のち駒神に向い前途中である。 歸順の關常慶が 行列の先頭

映畵で海外へ

近代日本を紹介

松竹、日活ご提携

外務省が力瘤

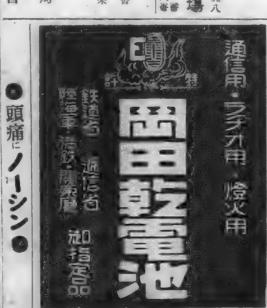
移稜の慶祝大會

「「大阪の各方面と交換中で、
を年は日本から多数の視察」が大阪の各方面と交換中で、
を作は五月町新京に移る像定であった大阪から購入し新京に天際
を持ば五月町新京に移る像定であった大阪から購入し新京に天際
を大阪がら、大田の名はを戦容し得 視察團收容のため

今議會に提案決定

資格

タイピスト兼速記採用





事變戰史編纂が目的

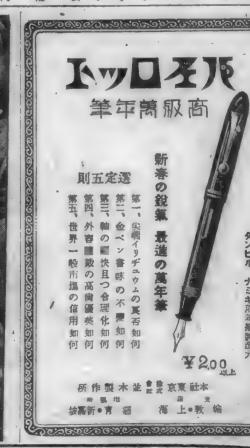
張文濤氏の日

各種御進物品卸

內店貨百連 日丁三町遠河 春四五太四番港

告

日本各地名産 珍



ラグミンナフ

妻女を生捕

奉天事務所樓上に設置

頭目跨海の

水上大會 第

和

列車ホテルを擴張

幸運な女給

大山 通

スコツチウヰスキー (化粧函入ボケツト大化粧函入ボケツト大 一、四、五〇五〇五〇五〇 物

ジレット安全剃刀は騒動りの快感な異へます。

てありますから鎮壁色の優いない。

剃刀及び替刄に特別加工を施し

1-

火

0

小

講権式剃刀保全装置によって繋 は領特よく安全愉快に剃られま す

替別は落じてもみにはれせす極

めて丈夫に出来て居ります う 替刄の角は丸めてある為皮質を 傷くる運び絶勢になじ

替刄は科學の粹な盡したもので 切味頗る契快 デレットは全世界の特許権によ り保護されて居ります

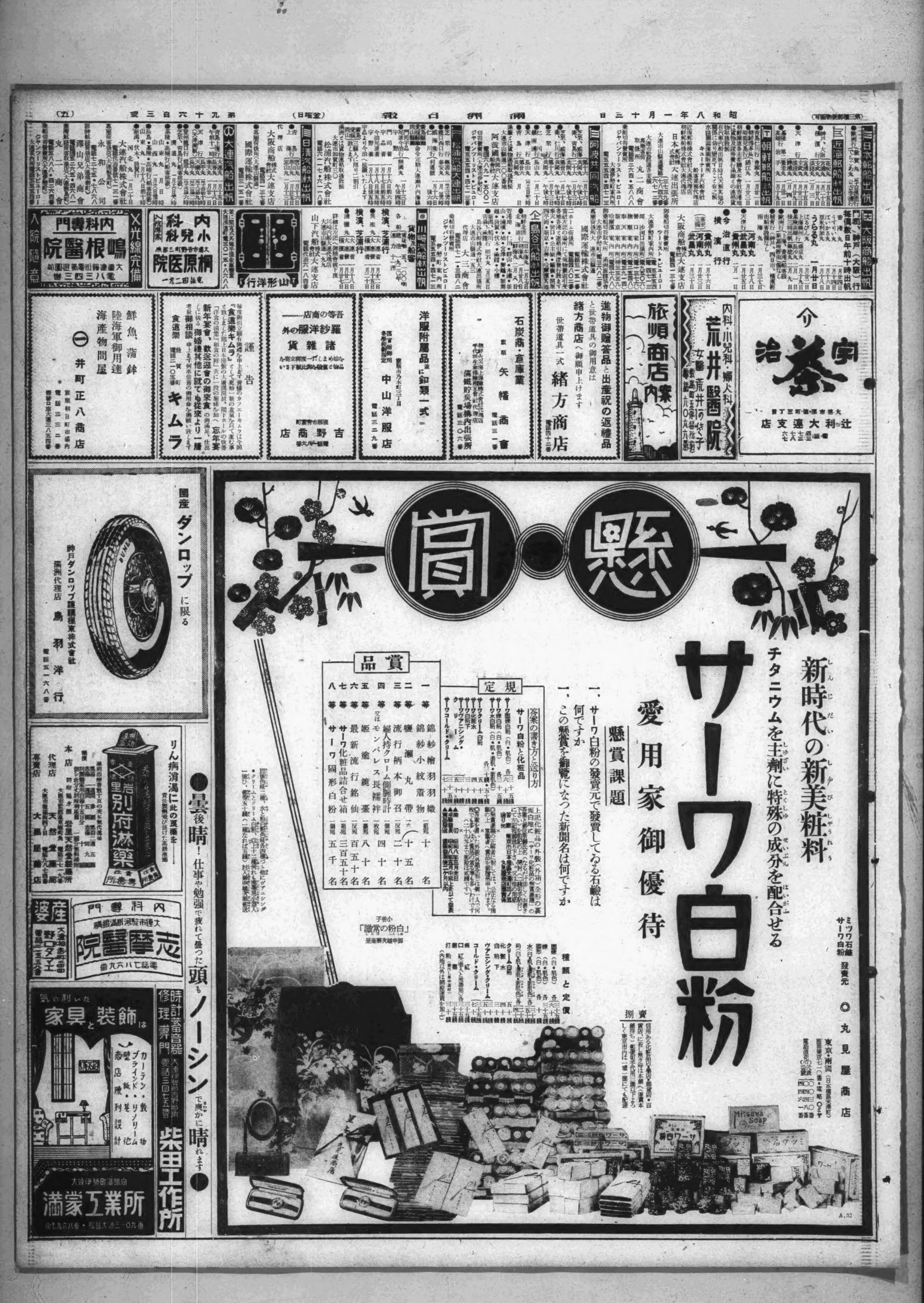
6

Genuine Gillette

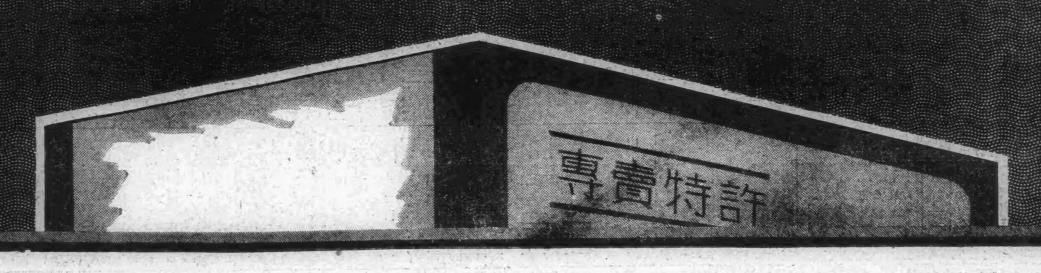
RAZORS BLADES

GILLETTE SAFETY RAZOR COMPANY BOSTON, MASS., U. S. A.





30



洞

H

載せら たっとして主演へーフニが内務省令を以て第五改正、清耗性疾患、及び慢性衰弱に「わかもと」を投表、消耗性疾患、及び慢性衰弱に「わかもと」を投表が漂素(ALEXIN)の増加等が旺盛となり、従つて最高に導く質例の多さは、とりも直さず、「わかも」を受力を望む。

成中の諸要素が活性で衰退せる組織細胞が

「わかもと」が各型食慾不振を のがある。即ち、胃腸機能の衰退 による食慾不振、結核經過中の食 思缺乏、其他、熱性疾患に伴ふ食 然不振等の場合、醫師は先づ「わ かもと」を慶方する。 は、ヘーフエを目して「これこそ 食慾素である」と絶叫して、各型 の食慾不振者に極力推奨してゐる

世代病に原因する衰弱に、從來の発養劑を服用して著効なき場合でも「わかもと」を服用せしむれば、食慾が漸進して精力を恢復し、は、食慾が漸進して精力を恢復し、は、食慾が漸進して精力を恢復し、は、食慾が漸進して精力を恢復し、は、食慾が漸進して精力を恢復し、な多きは、「わかもと」が接養補助の多きは、「わかもと」が接害もの場合で表現せる組織細胞に賦活して、これを聖新する作用の著しきに原因する。

地級せる胃筋肉を生理的に緊張せ しめて胃弱を治癒に導き、胃酸過多を中和して酸を減少し、且つ腸内の 腐敗並に酸酸菌の發生を阻止して腸 質を清掃し、腸の蠕動を促し、無痛 の快便を得さしむる。 が多くのがして、 質なる活性エンチーム製剤であるか らである。は、「わかもと」が多くの 良なる活性エンチーム製剤であるか らである。

用の

東京市國大學名譽放授

MANUFACTURED BY
ENO-TO-IKUJI-NO-KAI
TOKYO JAPAN

正 理 代 主 者 式 株 産 物 井 三

店支連大社會式株藥賣本日 店理代總洲滿 七四/一町 速 溪 市 速 大 九四〇-=•〇=-六•九=-六高電

元 選 選 の 発育と養祭 門大内園公芝市京東

春五六二二•八三三•五三三芝居電 番〇九九六二・○○七一京東連口錯派

入瓦〇九 粉末

(しべて奥投を両〇・三日一量用)



ンセ州價正 (色肌・色白) 粉白利便

波瀾重疊を豫想

ンフレ景氣から

本年證券界觀測

◆:たどし、迷い らの財政で至認 にいて充てた にいて充てた。 ない便法と見る

CG

適切有効

五

畨

强

腦精力

南到河三岛江西市逐大

₩0-0135€

能率增進

五

海 鐵 株 (軟 弱) 滿 鐵 株 (軟 弱) 滿 鐵 株 (軟 弱) 東 短 前 場 數 新 株 (軟 弱)

院靈

新定價金三円

五

家庭圓満

五

滿洲土建業者

滿鐵に所存開陳

効果的な兩者の懇談會

麥粉市況

五箇年ぶりの新記録

材料區々

報日 査調

版 **旅** 電話五二人六番

特に宿料の

勉强と親切叮嚀を モットーと致します

の折柄

に倫敦、直質さも八分の上 日米為特第一回同事第二回 日米為特第一回同事第二回

南下貨物の増量

日本物全盛時代

三百國一家の問題を附続する父は亡、職家問題を開き、以上総会を開き、以上総会を開き、以上総会を開き、以上総会を開き、以上総会では来ま

がける開館事者、奈天省公司を持ちている。

とみられ相場は質船三圓二十多、 とみられ相場は質船三圓二十多、

落潮の安東財界

甦生には總動員

古麻袋市況

細目を協定

直に瀟洲國政府に認可申請

總會で態度決定

機船漁業組合理事會で審議

た日清汽船

長江沿岸は荷積激減

當局嚴重に監視

放任は市收入にも影響

銀行側意見

日銀帳児

八〇五二〇

50

佐藤全郎 西門博士

三部三(西広場を) 電話八二五番 隨院入

九日

會出の日態総裁

門衞右與の難女 子粉塚版・子芳田川・吉清田高 凌共松吉村中・夫正畑・子唳柳

北京の十六四巻上映

魚市場移轉問題

安東電燈廠問題

・ フラスル、 学習も「身」 お明確に地別し難き場合のリニン無為善権出も種間 が概はデリケートな妊娠さが 配して問動放及より警告が ででして問動放及より警告が ででして問動放及より警告が ででしているがある。 を関係してはいるが、 ででしているが、 ででしたいるが、 ででしたいるが、 ででしたいるが、 ででしたいるが、 ででしたいるが、 ででしたいるが、 ででしたいるが、 ででしたいるが、 ででしたいるが、 でいるが、 でいるが、

取頭 四善田安

是(**梁物五**一八〇五二〇〇 以**梁物五**一八〇五二〇〇

綿袋保合

来高 四軍

(權專考寫)回丁四訂證沒市遵太

学00五八話電

三 **英 兩 五 十 三 次** 大河内傳次郎・伏見直江共澤 日滿貫御禮のため 階上七十銭階トで、

Ŕ 廖

汝の名は女子

赤穩浪士

悪氣高らかに

チダウ

十三日より公開

船回

中

央

B

より四日間

况土间

此段御通知等順に酬い、此段御通知等順大學問題等の結果解散等。 致ゆ引砌世女 候る事を御事を 御も 現公債 地 市 大 地 市 大 地 市 大 島 - M

期近台候職者に将来店位 深確様程く信近の

御記申上の経験を

商